The MU (Middle and Upper atmosphere) radar, 1984

MU レーダー (中層超高層大気観測用大型レーダー)

関西支部

京都大学は 1984 年に二次元アクティブ・フェーズド・アレイ方式を用いた世界初の大規模大気レーダーである MU レーダー (MST; 中間圏、成層圏、対流圏観測レーダー) を三菱電機株式会社と共同で開発した。これにより、大気の連続的かつ柔軟な観測が可能となり、大気科学やレーダー技術の発展に寄与した。

Citation (銘板に鋳込まれた碑文)

In 1984, Kyoto University built the MU (Middle and Upper atmosphere) radar as the first large-scale MST (Mesosphere, Stratosphere, and Troposphere) radar with a two-dimensional active phased array antenna system, with the collaboration of Mitsubishi Electric Corporation. The MU radar enabled continuous and flexible observation of the atmosphere, and has contributed to the progress of atmospheric science and radar engineering.



右から IEEE President and CEO Howard E. Michel 氏 京都大学 山極総長 三菱電機 柵山社長 IEEE 関西支部 山内 Chair



IEEE マイルストーン銘板





京都大学生存圏研究所 信楽 MU 観測所 MU レーダー

受賞の経過

- 1) Proposal Form 提出: 2013 年 10 月 3 日、History Committee 承認: 2014 年 7 月 30 日
- 2) 2014 年 12 月 24 日、Board of Directors により最終承認される。
- 3) 2015年5月13日、京都大学芝蘭会館にて贈呈式、記念講演会、記念パーティーが行われた。